

明るい選挙 啓発ポスターコンクール

令和6年度 全国優秀作品集



公益財団法人 明るい選挙推進協会

この冊子は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



ごあいさつ

公益財団法人明るい選挙推進協会会長 佐々木 毅



民主政治は、国民の意思によって政治の在り方が決まる政治です。代表民主主義国家においては、選挙によって選ばれた代表によって政治が行われますが、主権は国民にあります。選挙は国民が政治に参加する最大の機会であり、民主主義の根幹をなすものです。

「明るい選挙」とは、有権者が主権者としての自覚を持って進んで投票に参加し、選挙が公明かつ適正に行われ、私たちの意思が正しく政治に反映される選挙のことです。

公益財団法人明るい選挙推進協会は、都道府県選挙管理委員会連合会との共催で、全国の小学校、中学校、高等学校の児童、生徒を対象に、令和6年度明るい選挙啓発ポスターコンクールを実施しました。御協力いただきました全国の選挙管理委員会・明るい選挙推進協議会及び教育委員会・学校の皆様に御礼申し上げますとともに、応募してくださった児童生徒の皆さんに感謝申し上げます。

このコンクールは、明るい選挙を実現するためのポスターを描くことで、将来の有権者である児童生徒の皆さんに選挙、政治への関心を持ってもらうきっかけとなることを目的としています。

令和元年度から新型コロナウイルス感染症の影響により、応募学校数、応募者ともに減少しましたが、その後、関係者の皆様のご尽力により本年度は応募学校数が7,857校、応募者数は99,628人となりました。

審査は、市区町村における第1次審査、都道府県における第2次審査、当協会における中央審査を経て、文部科学大臣・総務大臣賞（連名）18作品、公益財団法人明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長賞（連名）60作品を決定しました。都道府県、市区町村においても、それぞれ賞を設け、表彰式や展示会が行われました。

この作品集は、次回以降の作品募集に資するため、大臣賞・会長賞を一冊にまとめたものです。主権者教育の一環としても御活用いただければ幸いです。

目 次

ごあいさつ	2
目次	3
令和6年度明るい選挙啓発ポスターコンクール審査評	4
文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 小林恭代	
令和6年度明るい選挙啓発ポスターコンクール作品募集要項	7
令和6年度明るい選挙啓発ポスターコンクール応募状況	8
全国優秀作品	
文部科学大臣・総務大臣賞	9
明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長賞	28

明るい選挙啓発ポスターコンクール 令和6年度 全国優秀作品集

発行日	令和7年2月25日
編集・発行	公益財団法人明るい選挙推進協会
住所	東京都千代田区一番町13-3 ラウンドクロス一番町7F
電話	03-6380-9891
ホームページ	http://www.akaruisenkkyo.or.jp/

ポスターコンクールの意義と子供の学び

文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 小林 恭代

● はじめに ●

毎年開催されている本コンクールも本年で76回目を迎えます。全国の小学校、中学校、高等学校から、実に99,628点の作品の応募がありました。これだけ多くの児童、生徒の皆さんが、明るい選挙の大切さについて考え、表現してくれたことが、まずもって大変貴重なことであったと感じています。

このような質の高いコンクールが継続されているのも、主催者を始め関係者の方々の多大なご努力と、選挙啓発というテーマの重要性を理解して、ご指導いただいた先生方、子供を認め支えてくださった保護者の皆様、多くの方々のご支援の賜物と存じます。

審査に当たっては、審査委員の先生方とじっくりと、ときにディスカッションしながら、1枚1枚を丁寧に拝見しました。どの作品も力作で、審査は大変難しいものでした。

本審査評では、どのような考え方で審査が進められたのかについて、また、ポスター製作に当たって大切となる点について述べていきたいと思います。

● 表現することを通してどのようなことを学んでいるのか ●

近年、生成AIが話題になっています。いくつかのプロンプト（指示や質問）を入力すると、絵を描いてくれるものもあります。本物そっくりなものから、〇〇風と、さまざまな要求に応えてくれ、しかもあつという間にできるのです。とても便利になったと思うと同時に、では、人が絵を描く意味はなんだろうと、改めて考えさせられます。

絵に表すことを通して、様々な力を身に付けていくことができます。今回のコンクールでいえば、まず「どんなことを表現するか」という主題を決めねばなりません。そのために、選挙の意義や歴史、仕組みなどについて、書物やインターネットを使って調べた人もいるでしょうし、家族や友人に聞いた人もいるでしょう。その他にも、「こうなったらいいな」と、想像してみたり、「明るい選挙」というテーマから、これまでの経験を思い出したりもしたと思います。そうやって、自分が表したいと思うことを見付ける力や、どうやって表していくか考える力が必要となります。

主題が決まったら、表したいことに合わせてどのような材料や用具を使うのか、どのような表し方をするのかを決め、実際に工夫して表していきます。そのときも、紙はたて向きにするか横向きにするか、何を、画面のどこに、どのくらいの大きさで描くのか、色は何色にするのか…様々に考え、手を動かしていったでしょう。このように、1つの作品を仕上げるまでには、たくさんのことを考え、決め、工夫する必要があることが分かります。ときには、思うように描けないときもあったかもしれません。そんなときにもあきらめず、粘り強く最後までやりきる力も必要です。

これらのことこそが、表現を通して学んでいることなのです。その過程を重視することが大切であり、審査も、この作品がどのようにして生まれたのかという過程に着目し

て、慎重に行われました。

● 創造性を大切にする ●

図画工作でも、美術でも、大切なことは、「創造的に発想や構想をしたり、表したりする」ことです。では、「創造的」とはどういうことでしょうか。それは、自分にとって新しいものやことをつくりだすように、表したいことを見付けたり、どのように表すか考えたりすることです。「こんなことを表したい」「こんなふうに表したい」という「自分の思い」を基に、自分らしく表すことです。

中学校美術では、表現の学習において、自らが強く表したいことを心の中に思い描き、豊かに発想や構想をすることを重視し、そのことを「主題を生み出す」という言葉で示しています。そして、「自分は何を表したいのか、どういう思いで表現しようとしているのか」などの思いを大切に、表現の意図に応じて様々な技能を応用したり、工夫を繰り返して自分の表現方法を見付け出したりすることが大切だとしています。

作品をつくりだすことは、自分にとっての意味や価値をつくりだすことであり、同時に自分自身をもつくりだしています。「こんなことを表したい」「こんなふうに表したい」という「自分の思い」を基に、自分らしく表すこと。それは、自ら楽しく豊かな生活をつくりだし、主体的に生きていくことにつながっていきます。

一人一人が創意工夫を重ねて生み出した作品には、かけがえのない価値があります。児童生徒の皆さんは、様々な作品を見て、参考にすることもあると思いますが、自分らしさを大切に表現して行ってほしいと願っています。審査でも、この創造性を大切にする視点を重視しました。

● 伝えたいことを明確にして ●

本コンクールでは、応募者の皆さんが、「明るい選挙を皆に呼びかける」という目的を基に、より多くの人に分かりやすく美しく伝えるにはどうしたらよいかを考えて表現してくれました。形や色などをどのように組み合わせれば言いたいことが伝わるのか、文字はどうやって取り入れるとよいかなど、効果を考え、試行錯誤されたことが伝わってきました。ポスターは、情報や自分の考えを伝えるための表現です。何を伝えるのかを明確にし、そのポスターを見る人のことを想像して、表し方を工夫していくことが大切です。

魅力のあるポスターは、何を伝えたいのかが明確です。ハッとするような言葉であったり、独創的な視点であったり、ユーモアであったり、色彩の美しさであったり…作品によって魅力は様々ですが、まずは「明るい選挙を呼びかけるにはどのようなことが大切か」についてじっくり考えることが必要でしょう。さらに、日頃から身の回りをよく観察したり、積極的に様々な経験をしたりしていくことも大切です。

● 表現方法を工夫して表す ●

本コンクールでは、小学校1年生から高校3年生までの幅広い年齢の作品が集まります。いずれも、それぞれの年齢での表現のよさ、その時期だからこそ感じられることや考えられることを大切に表した表現でした。審査では、技術的に優れていることだけを評価するのではなく、それぞれの発達の段階における作者の表したいこと、表したいこと

に合わせた技能などを総合的に作品から読み取るように努力しました。

各学年の時期の子供には、活動における傾向があります。例えば、小学校低学年では、材料に体ごと関わって楽しんだり、進んで材料に働きかけたりする姿が見られ、思い付いたことはすぐにつくったりかいたりしたいと思い表現します。中学年では、手などの働きも巧みさを増し、扱う材料や用具の種類が増え、様々な表現方法に興味をもち、自分の表現に生かしていこうとします。高学年では、多様な材料や用具の経験があり、表したいことに適した材料や用具を選んだり、表現方法を組み合わせて表したりするなど、これまでに身に付けた技能を生かして表す姿が見られます。小学校においては、表したいことを表すために、表現方法や材料、用具などを選んだり、組み合わせたりして表していくことが大切です。

中、高等学校においては、映像メディア、漫画やイラストレーション、日本及び諸外国の美術の作品などにおける多様な表現方法を鑑賞するなどして、自分の表現意図に合う独創的な表現方法を工夫して、幅広く表現活動が行えるようにすることが大切であると言えます。

今回、中学、高等学校を中心に、コンピュータを用いたデジタル表現が見られたことも印象的でした。ICT端末が1つの画材として浸透しつつあるのだと感じます。コンピュータの特長は、何度でもやり直しができたり、取り込みや貼り付け、形の自由な変形、配置換え、色彩換えなど、構想の場面での様々な試しができたりすることにあります。そのよさを生かした楽しく独創的な表現が見られました。

● おわりに ●

今回出会った作品は、「明るい選挙」という共通のテーマを基に、創造性や独創性を発揮した力作ばかりでした。私たちが豊かで幸せな生活を送るには、立派な政治が行われる必要があります、その政治は選挙によって選ばれた人たちで行われます。明るく、正しい選挙を自分事として考え、ポスターに表すことを通して、自分の身の回りや社会に目を向けることができた児童生徒の皆さんには、今回の取組を自信と誇りにしていただきたいと思います。

先生方、保護者の皆様には、子供が様々な思いをもっていることを心に留め、あたたかく見守っていただいていることと思います。これからも、その子供のよさや個性を認め支えていただきますようお願いいたします。

最後になりましたが、未来のつくり手である、児童生徒の皆さんの素晴らしい作品に接することができ、本審査に携われたことに心より感謝申し上げます。子供たち一人一人のよさや可能性、個性の伸張につながる本ポスターコンクールが今後も引き続き開催されることを心から願っております。

令和6年度明るい選挙啓発ポスター 作品募集（第76回）要項

①趣旨

私たちが豊かで幸せな生活をおくるには、立派な政治が行われなければなりません。その政治は選挙によって選ばれた人たちによって行われます。だから選挙が明るく正しく行われなければなりません。そこで、全国の児童、生徒の皆さんに、明るい選挙を呼びかける印象的なポスターをかいていただきたいのです。

②応募規定

(1)内容

明るい選挙を呼びかけることを内容に、自由に表現してください。

(2)応募資格

小学校児童、中学校・高等学校の生徒

(3)募集期間

令和6年5月7日（火）から令和6年9月6日（金）まで

(4)締切日と提出先

令和6年9月6日（金）までにあなたの住んでいる市区町村または通学している学校のある市区町村の選挙管理委員会に提出してください。

※市区町村によって異なることがありますので、詳しくは最寄りの選挙管理委員会にお尋ねください。

(5)画材

描画材料は自由（紙や布など、絵の具材料だけに限りません）

(6)大きさの基準

画用紙の四ツ切（542mm×382mm）、ハツ切（382mm×271mm）もしくはそれに準じる大きさ

(7)応募上のご注意

①他者の著作物（インターネット等にある写真やイラスト等）を模倣した作品は、応募できません。オリジナル作品に限ります。

②作品のうら右下に、都道府県名、学校名、学年、氏名（ふりがな）を必ず記入してください。

③応募作品は、原則として返却しません。

④入賞作品の著作権は主催者に属し、作品は自由に利用させていただきます。

⑤入賞者の学校名、学年及び氏名を公表させていただきます。

③審査

(1)第1次審査

各市区町村選挙管理委員会において、小・中・高別に選びます。

(2)第2次審査（地方審査）

各都道府県選挙管理委員会において、小・中・高別に応募数に応じ、所定の点数を選んだうえ、第3次審査（中央審査）へ提出します。

(3)第3次審査（中央審査）

第2次審査で選ばれた作品について、下記審査員により入賞作品を決定します。

文部科学省・総務省・公益財団法人明るい選挙推進協会・都道府県選挙管理委員会連合会の各代表審査員

④賞

(1)小・中・高別に次の賞を贈ります。

①文部科学大臣・総務大臣（連名）の賞状と公益財団法人明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長（連名）からの副賞

小学校 各学年1名 中学校 各学年2名 高等学校 各学年2名

②公益財団法人明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長（連名）の賞状と副賞

小学校・中学校・高等学校 各学年若干名

(2)第3次審査（中央審査）に提出された方全員に、公益財団法人明るい選挙推進協会会長から記念品を贈ります。

⑤発表

12月中旬の予定

主催	公益財団法人明るい選挙推進協会	都道府県選挙管理委員会連合会
	都道府県選挙管理委員会	市区町村選挙管理委員会
後援	文部科学省 総務省	都道府県教育委員会 市区町村教育委員会

公益財団法人明るい選挙推進協会ホームページ

<http://www.akaruisenkkyo.or.jp/>

都道府県選挙管理委員会連合会ホームページ

<http://www.todofuken-senkan.jp/>

令和6年度明るい選挙啓発ポスターコンクール (第76回) 応募状況

都道府県		応募学校数				応募者数				中央審査提出数			
		小学校	中学校	高等学校	計	小学校	中学校	高等学校	計	小学校	中学校	高等学校	計
北海道・東北	北海道	40	37	4	81	788	299	5	1,092	7	3	1	11
	青森県	10	13	2	25	124	67	24	215	3	3	3	9
	岩手県	42	34	6	82	651	275	87	1,013	6	3	7	16
	宮城県	69	46	5	120	228	420	23	671	3	5	3	11
	秋田県	6	19	7	32	75	90	50	215	3	3	5	11
	山形県	72	49	8	129	441	821	86	1,348	5	7	7	19
	福島県	27	38	6	71	113	438	21	572	3	5	3	11
関東甲信越・静岡	茨城県	176	113	6	295	1,156	1,382	15	2,553	9	10	2	21
	栃木県	168	76	3	247	1,270	683	25	1,978	9	6	2	17
	群馬県	155	137	3	295	1,629	3,579	62	5,270	11	17	2	30
	埼玉県	338	151	19	508	4,245	1,696	128	6,069	19	11	9	39
	千葉県	266	174	15	455	908	784	45	1,737	8	7	5	20
	東京都	427	308	48	783	4,462	9,678	737	14,877	19	30	25	74
	神奈川県	148	60	12	220	1,277	619	100	1,996	9	6	8	23
	山梨県	94	45	1	140	1,679	1,498	12	3,189	11	9	2	22
	長野県	166	39	4	209	3,399	435	8	3,842	16	5	1	22
	新潟県	35	20	2	57	194	72	20	286	3	3	2	8
	静岡県	150	88	12	250	1,311	487	182	1,980	10	5	5	20
東海・北陸	富山県	43	47	4	94	101	447	30	578	3	5	3	11
	石川県	13	14	4	31	15	135	100	250	3	3	8	14
	福井県	62	33	1	96	432	710	21	1,163	5	7	3	15
	岐阜県	75	49	5	129	567	281	82	930	6	3	7	16
	愛知県	642	324	24	990	4,036	4,635	778	9,449	18	20	22	60
	三重県	58	38	3	99	705	576	5	1,286	7	6	1	14
近畿	滋賀県	27	22	1	50	153	301	1	455	3	4	1	8
	京都府	63	30	3	96	480	309	118	907	5	4	7	16
	大阪府	127	65	19	211	2,664	2,510	582	5,756	14	14	22	50
	兵庫県	240	148	16	404	1,021	3,487	230	4,738	9	17	13	39
	奈良県	33	9	1	43	320	149	4	473	4	3	1	8
	和歌山県	7	10	7	24	126	116	91	333	3	3	8	14
中国	鳥取県	17	10	2	29	32	144	60	236	3	3	6	12
	島根県	13	19	5	37	299	179	9	487	3	3	1	7
	岡山県	26	32	3	61	67	272	36	375	3	3	4	10
	広島県	34	52	13	99	1,112	733	97	1,942	5	5	5	15
	山口県	54	31	5	90	112	150	32	294	3	3	4	10
四国	徳島県	62	39	6	107	334	583	19	936	4	6	2	12
	香川県	71	39	5	115	328	355	196	879	4	4	12	20
	愛媛県	112	63	16	191	492	759	153	1,404	5	7	10	22
	高知県	8	13	2	23	61	149	93	303	3	3	8	14
九州	福岡県	169	94	13	276	7,208	6,301	118	13,627	24	20	6	50
	佐賀県	42	26	8	76	293	209	67	569	3	3	6	12
	長崎県	54	35	7	96	125	328	34	487	3	4	4	11
	熊本県	52	19	6	77	284	106	17	407	3	3	1	7
	大分県	43	26	5	74	401	313	85	799	5	4	7	16
	宮崎県	58	27	5	90	252	149	99	500	3	3	2	8
	鹿児島県	37	47	5	89	119	515	16	650	3	6	2	11
	沖縄県	20	30	11	61	233	187	92	512	3	3	8	14
合計		4,651	2,838	368	7,857	46,322	48,411	4,895	99,628	314	310	276	900

※昨年度応募者数 106,342

文部科学大臣・総務大臣賞（18人）

学年	都道府県	氏名	学校名
小学1年生	岐阜県	伊藤 緋奈乃	海津市立城山小学校
小学2年生	山梨県	渡邊 悠真	富士吉田市立下吉田東小学校
小学3年生	島根県	森山 忠信	松江市立出雲郷小学校
小学4年生	千葉県	土信田 恋咲	我孫子市立我孫子第一小学校
小学5年生	福島県	滝口 仁	河沼郡会津坂下町立坂下南小学校
小学6年生	福岡県	作本 絆	糟屋郡志免町立志免南小学校
中学1年生	福井県	中村 にいな	敦賀市立松陵中学校
	兵庫県	川下 栞奈	姫路市立広畑中学校
中学2年生	東京都	中村 凪	練馬区立大泉西中学校
	佐賀県	末次 柚稀	武雄市立北方中学校
中学3年生	東京都	岡地 颯之介	町田市立町田第一中学校
	福岡県	笈木 結衣	豊前市立八屋中学校
高校1年生	埼玉県	田口 翠音	県立芸術総合高等学校
	香川県	越智 汐里	県立高松工芸高等学校
高校2年生	石川県	山田 真輝	県立工業高等学校
	香川県	釜野 瑚雪	県立高松工芸高等学校
高校3年生	京都府	寄友 大毅	京都精華学園高等学校
	大阪府	松木 葵生	府立狭山高等学校



小学校1年生 伊藤 緋奈乃 岐阜県 海津市立城山小学校

色とりどりの投票用紙を持った人々の表情が明るく、背景にははっきりとした色を組み合わせ、楽しい雰囲気の作品となっています。選挙に行くことで、皆が笑顔で暮らせますようにという願いが伝わってきます。



小学校2年生 渡邊 悠真 山梨県 富士吉田市立下吉田東小学校

投票箱に描かれている風景は、普段の暮らしが明るく、安心なものであってほしいという思いの表れでしょうか。投票する手が箱に向かってぐんと伸びて、選挙に行くことで未来を変えていこうという気持ちが伝わってきます。



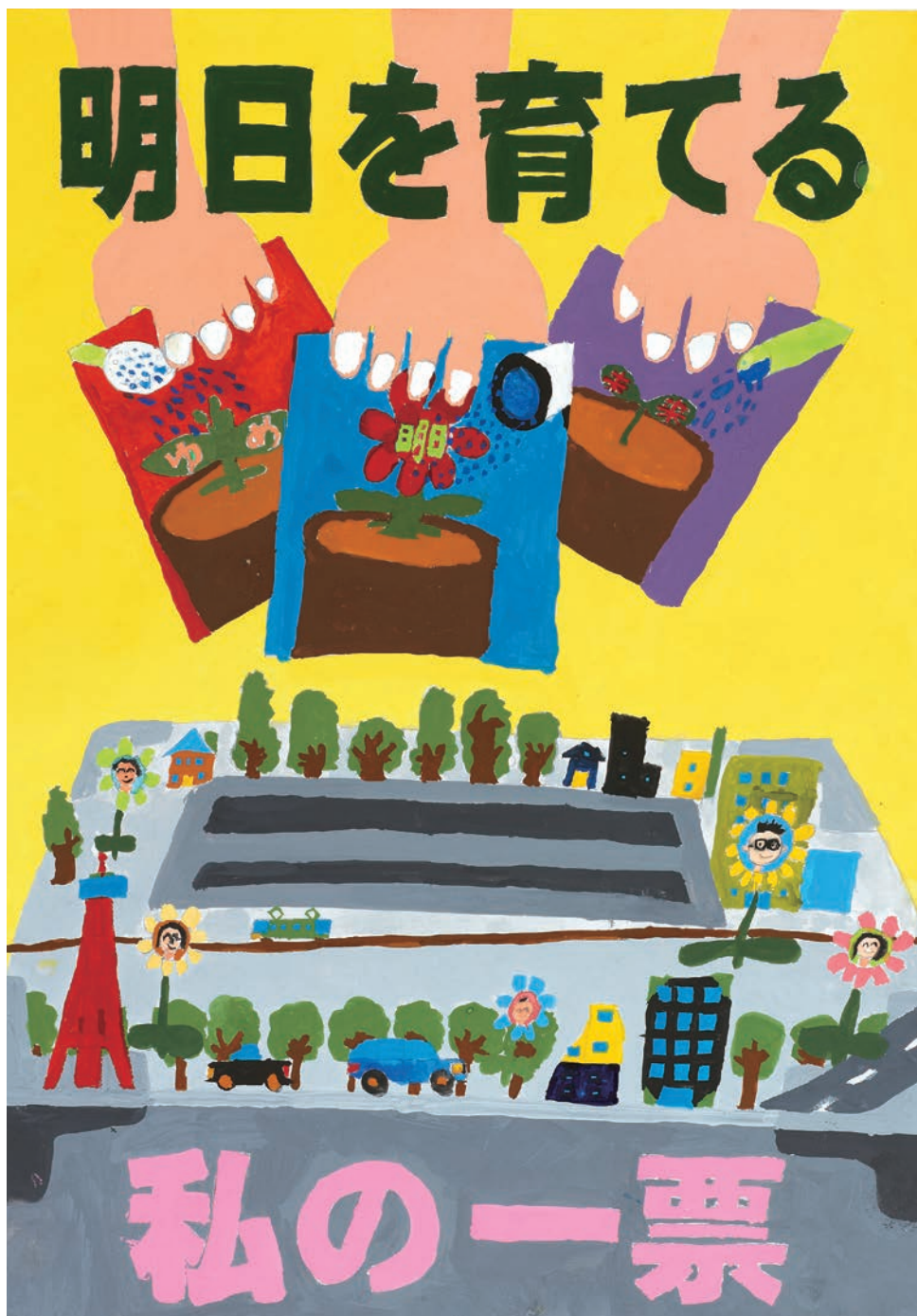
小学校3年生 森山 忠信 島根県 松江市立出雲郷小学校

たくさんの人々が空の上の虹や雲の上を並んで歩いていて、中には雲にぶら下がった人もいます。手に持った投票用紙は、投票箱に吸い込まれていきます。こんなふうに、夢と希望をもって選挙に行けたら素敵ですね。



小学校4年生 土信田 恋咲 千葉県 我孫子市立我孫子第一小学校

小さな魚が集まって大きなクジラになり、中には、「願い」という文字を描く魚たちもいます。選挙では、一人一人の一票を大切にしているということを、見事に伝えています。作者のアイデアが光る作品です。



小学校5年生 滝口 仁 福島県 河沼郡会津坂下町立坂下南小学校

選挙で明るい未来をつくっていくことを、投票用紙に描かれた植物が育っていく様子で表現しています。投票箱の上には町が広がり、伝えたいことが一層明確になっています。文字の色や配置の工夫も効果的です。



小学校6年生 作本 絆 福岡県 糟屋郡志免町立志免南小学校

投票箱から延びる道は、未来へと続いているのでしょうか。投票することで明るい未来につながってほしいという思いが伝わってきます。「未来」「一票」という文字も、伝えたいことをよく考え、表し方を工夫しています。



中学校1年生 中村 にいな 福井県 敦賀市立松陵中学校

海辺を颯爽と自転車で走る姿、青い空、さわやかな風が吹き抜けるようなすがすがしい場面を表しています。「18歳 私の票で色づく明日」という文字と相まって、明るい選挙のイメージが豊かに伝わってきます。



中学校1年生 川下 栞奈 兵庫県 姫路市立広畑中学校

「開こう明るい未来を」というメッセージを、ファスナーを開けるという行為と重ね、花や羽ばたく鳥にも未来への思いを託して、画面に効果的に配置しています。主題をどのように表現していくかよく考えられた作品です。



中学校2年生 中村 凧 東京都 練馬区立大泉西中学校

筆の軌跡の部分にだけ街の様子を描くという表し方の工夫が、「その一票が未来を彩る」というメッセージをよく伝えています。中央に大きく配した投票用紙、筆を持つ手の力強さも、この作品の魅力となっています。



中学校2年生 末次 柚稀 佐賀県 武雄市立北方中学校

「選挙へ」という文字の中に「みらい」がある。この発想の豊かさに驚きました。選挙が明るい未来へつながることがストレートに伝わってきます。使う色をあえて絞ったことも効果的で、意図が明確な作品です。



中学校3年生 岡地 颯之介 東京都 町田市立町田第一中学校

色づかいが印象的な作品です。画面の下半分は無彩色、上半分は鮮やかな色で構成し、未来を感じさせます。投票用紙に配した文字は躍動感があり、見る人の「投票しよう」という気持ちへ訴える作品となっています。



中学校3年生 笈木 結衣 福岡県 豊前市立八屋中学校

様々な職業の人々の服装やポーズを細やかに観察して描き切っています。「選挙へ行くのだ」という短いフレーズは、一人一人の意思のある表情と相まって、説得力のある表現となっています。



高校1年生 田口 翠音 埼玉県 県立芸術総合高等学校

鮮やかな色づかいが非常に目を引きます。画面の構成がよく考えられていて、投票用紙を並べてつくった「未来」という文字がずっと目に入ってきます。投票の大切さを、見る人に強く訴える作品です。



高校1年生 越智 汐里 香川県 県立高松工芸高等学校

投票の権利を得るということは、まさに、大人への扉を開けるということ。その瞬間を明るく表現しています。舞い飛ぶ投票用紙や女性のなびく髪が、目には見えない風を感じさせるとともに、すがすがしい心情も伝えています。



高校2年生 山田 真輝 石川県 県立工業高等学校

明日につながる、人々がつながる選挙の大切さを、一筆書きでつなげるというアイデアで見事に表現しています。あえて2色に抑えた色づかいも、すっきりとしていてさわやかな印象となっています。



高校2年生 釜野 瑚雪 香川県 県立高松工芸高等学校

投票用紙をもつ女性を見上げている少女は、過去の自分でしょうか。大人になったら、自分の意志で投票をしようというメッセージが伝わってきます。意図が明確なうえに、見る人が温かな気持ちになれる作品です。



高校3年生 寄友 大毅 京都府 京都精華学園高等学校

歌舞伎風の表情、ポーズを決めている人物が、学生服を着ているという意外性、そして、18歳ということが絵だけでもわかる点が特徴的です。「いざ、選挙へ!」の言葉もシンプルだからこそのインパクトがあります。



高校3年生 松木 葵生 大阪府 府立狭山高等学校

手前に向かってぐんと伸びる足、前方へ広がる道、少し下から見上げたような構図で、投票しようとする人物の様子を生き生きと表現しています。明るい選挙を推進していくという意図が明確に伝わってくる作品です。

公益財団法人明るい選挙推進協会会長・ 都道府県選挙管理委員会連合会会長賞（60人）

学年	都道府県	氏名	学校名
小学1年生	愛知県	青島 朔久	日進市立北小学校
	宮崎県	黒木 一耀	東諸県郡国富町立森永小学校
小学2年生	愛知県	山本 奈穂	半田市立花園小学校
	和歌山県	谷口 絢咲	和歌山市立紀伊小学校
小学3年生	山梨県	佐藤 伸一	甲府市立大國小学校
	愛媛県	岡部 泰志	今治市立富田小学校
小学4年生	福井県	松山 涼哉	福井市清水北小学校
	佐賀県	中島 央陽	鳥栖市立弥生が丘小学校
小学5年生	栃木県	小松原 禅	栃木市立栃木中央小学校
	京都府	秋丸 詢一郎	相楽東部広域連合立和束小学校
	福岡県	山本 彦希	糟屋郡須恵町立須恵第二小学校
小学6年生	宮城県	小澤 碧音	名取市立ゆりが丘小学校
	東京都	栗原 彩羽	西多摩郡瑞穂町立瑞穂第三小学校
	東京都	林 優衣	立川市立柏小学校
	山梨県	天野 羽菜	南都留郡山中湖村立東小学校
	山梨県	大坪 はす音	中巨摩郡昭和町立押原小学校
	京都府	菅 恵万	木津川市立梅美台小学校
	大阪府	神谷 美伶	守口市立よつば小学校
	兵庫県	梶原 琉可	姫路市立糸引小学校
	愛媛県	山内 利乃明	松山市立味酒小学校
	福岡県	安川 俊輝	糟屋郡粕屋町立粕屋西小学校
中学1年生	群馬県	荒木 愛里	渋川市立渋川中学校
	埼玉県	尾崎 美佳	八潮市立潮止中学校
	東京都	柴田 彩愛	文京区立第八中学校
	福岡県	笈木 愛菜	豊前市立八屋中学校
中学2年生	宮城県	太田 実伶	東松島市立鳴瀬未来中学校
	群馬県	岩井 ひなた	甘楽郡下仁田町立下仁田中学校
	埼玉県	上野 このみ	鶴ヶ島市立鶴ヶ島中学校
	埼玉県	佐藤 優馬	上尾市立大谷中学校

学年	都道府県	氏名	学校名
中学2年生	千葉県	川口 璃音	旭市立第二中学校
	東京都	小川 栞野	北区立十条富士見中学校
	長野県	小橋 愛花	須坂市立相森中学校
	大阪府	藤岡 奈花	茨木市立彩都西中学校
中学3年生	秋田県	河田 琉南	能代市立能代第一中学校
	東京都	上原 穂花	足立区立鹿浜菜の花中学校
	東京都	山東 りこ	渋谷区立上原中学校
	神奈川県	高知 陽菜	愛甲郡愛川町立愛川中原中学校
	静岡県	岩崎 紗珠	熱海市立多賀中学校
	岐阜県	星野 友希	羽島郡笠松町立笠松中学校
	愛知県	栞山 紗知	稲沢市立平和中学校
	岡山県	黒木 菜結	笠岡市立新吉中学校
	福岡県	安陪 華子	大牟田市立宅峰中学校
高校1年生	青森県	岩本 郁香	八戸工業大学第二高等学校
	千葉県	飯田 蘭	県立千葉女子高等学校
	東京都	横田 碧	都立工芸高等学校
	兵庫県	山縣 志帆	小林聖心女子学院高等学校
	島根県	長島 藍子	県立出雲高等学校
	岡山県	滝島 さくら	県立高梁城南高等学校
高校2年生	岩手県	山田 奈奈実	県立福岡高等学校
	山形県	高橋 彩華	県立上山明新館高等学校
	埼玉県	大木 彩愛	山村学園高等学校
	和歌山県	高橋 碧央人	和歌山市立和歌山高等学校
	愛媛県	田岡 静佳	新居浜工業高等専門学校
	愛媛県	田頭 花唯	済美高等学校
	長崎県	岩崎 寛治	県立佐世保西高等学校
	長崎県	吉村 美咲	県立佐世保西高等学校
高校3年生	秋田県	佐々木 美桜	県立角館高等学校
	静岡県	竹内 ひな	県立浜松工業高等学校
	京都府	塩崎 七海	京都精華学園高等学校
	香川県	雪森 さくら	県立高松工芸高等学校



小学1年生 青島 朔久
愛知県 日進市立北小学校



宮崎県 東諸県郡国富町立森永小学校
小学1年生 黒木 一耀



小学2年生 山本 奈穂
愛知県 半田市立花園小学校



小学2年生 谷口 絢咲
和歌山県 和歌山市立紀伊小学校



山梨県 甲府市立大田小学校
小学3年生 佐藤 伸一



愛媛県 今治市立富田小学校
小学3年生 岡部 泰志



小学4年生 松山 涼哉
福井県 福井市清水北小学校



佐賀県 小学4年生 中島 央陽
鳥栖市立弥生が丘小学校



栃木県 小学5年生 小松原 禅
栃木市立栃木中央小学校



京都府 小学5年生 秋丸 詢一朗
相楽東部広域連合立和束小学校



福岡県 小学5年生 山本 彦希
糟屋郡須恵町立須恵第二小学校



小学6年生 小澤 碧音
宮城県 名取市立ゆりが丘小学校



小学6年生 栗原 彩羽
東京都 西多摩郡瑞穂町立瑞穂第三小学校



小学6年生 林 優衣
東京都 立川市立柏小学校



山梨県 南都留郡山中湖村立東小学校
小学6年生 天野 羽菜



山梨県 中巨摩郡昭和町立押原小学校
小学6年生 大坪 はす音



京都府 木津川市立梅美台小学校
小学6年生 菅 恵万



大阪府 守口市立よつば小学校
小学6年生 神谷 美伶



小学6年生 梶原 琉可
兵庫県 姫路市立糸引小学校



小学6年生 山内 利乃明
愛媛県 松山市立味酒小学校



小学6年生 安川 俊輝
福岡県 糟屋郡粕屋町立粕屋西小学校



中学1年生 荒木 愛里
群馬県 渋川市立渋川中学校



中学1年生 尾崎 美佳
埼玉県 八潮市立潮止中学校



中学1年生 柴田 彩愛
東京都 文京区立第八中学校



福岡県 豊前市立八屋中学校
中学1年生 笈木 愛菜



宮城県 東松島市立鳴瀬未来中学校
中学2年生 太田 実伶



群馬県 甘楽郡下仁田町立下仁田中学校
中学2年生 岩井 ひなた



埼玉県 鶴ヶ島市立鶴ヶ島中学校
中学2年生 上野 このみ



埼玉県 上尾市立大谷中学校
中学2年生 佐藤 優馬



千葉県 旭市立第二中学校
中学2年生 川口 璃音



東京都 北区立十条富士見中学校
中学2年生 小川 栞野



長野県 須坂市立相森中学校
中学2年生 小橋 愛花



大阪府 茨木市立彩都西中学校
中学2年生 藤岡 奈花



秋田県 能代市立能代第一中学校
中学3年生 河田 琉南



東京都 足立区立鹿浜菜の花中学校
中学3年生 上原 穂花



東京都 渋谷区立上原中学校
中学3年生 山東りこ



神奈川県 愛甲郡愛川町立愛川中原中学校
中学3年生 高知 陽菜



静岡県 熱海市立多賀中学校
中学3年生 岩崎 紗珠



中学3年生 星野 友希
岐阜県 羽島郡笠松町立笠松中学校



愛知県 稲沢市立平和中学校
中学3年生 栗山 紗知



岡山県 笠岡市立新吉中学校
中学3年生 黒木 菜結



中学3年生 安倍 華子
福岡県 大牟田市立宅峰中学校



青森県 高校1年生 岩本 郁香
八戸工業大学第二高等学校



千葉県 高校1年生 飯田 蘭
県立千葉女子高等学校



東京都 高校1年生 横田 碧
都立工業高等学校



高校1年生 山縣 志帆
兵庫県 小林聖心女子学院高等学校



島根県 高校1年生 長島 藍子
県立出雲高等学校



岡山県 高校1年生 滝島 さくら
県立高梁城南高等学校



岩手県 県立福岡高等学校
高校2年生 山田 奈奈実



山形県 県立上山明新館高等学校
高校2年生 高橋 彩華



埼玉県 山村学園高等学校
高校2年生 大木 彩愛



和歌山県 和歌山市立和歌山高等学校
高校2年生 高橋 碧央人



愛媛県 新居浜工業高等専門学校
高校2年生 田岡 静佳



愛媛県 済美高等学校
高校2年生 田頭 花唯



高校2年生 岩崎 寛治
長崎県 県立佐世保西高等学校



高校2年生 吉村 美咲
長崎県 県立佐世保西高等学校



高校3年生 佐々木 美桜
秋田県 県立角館高等学校



高校3年生 竹内 ひな
静岡県 県立浜松工業高等学校



高校3年生 塩崎 七海
京都府 京都精華学園高等学校



高校3年生 雪森 さくら
香川県 県立高松工業高等学校



たから

宝くじは、

みんなの暮らしに
役立っています。



リスザル展示施設



宝くじ桜



宝くじドリームジャンボ絵本



集会用テント



いちりんしゃ
一輪車



救急普及啓発広報車

宝くじは、図書館や動物園、
学校や公園の整備をはじめ、
災害に強い街づくりまで、
みんなの暮らしに役立っています。

一般財団法人日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や
公益法人等が行う社会に貢献する事業への助成を行っています。



一般財団法人

日本宝くじ協会

<https://jla-takarakuji.or.jp/>

